

経済学へのアプローチ

名古屋大学経済学部 案内



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY



幅広い教養・知識
論理的思考力

専門的知識

大学院経済学研究科
Graduate School of Economics
経済学部
School of Economics
国際経済政策研究センター
Economic Research Center

T字型人材の育成

どのような経済活動も、多くの人々の協働と多様な知識の結集によって成り立っています。製品を作って売るといった単純な行為でさえ、何を作るのか、どうやって作るのか、作るのに必要な労働力、資材、資金の調達はどうするのかなど、それぞれに専門的な知識や技術、それらを担う人々の協力が不可欠です。そして、このために必要な知識は、人文科学や自然科学の領域にまで広がっており、そのすべてを一人で勉強してマスターすることは現実的ではありません。そこで、経済学部の卒業生には自分自身の専門分野を磨くとともに、幅広い分野の人との協働を可能にする学識が求められます。ここでいう学識とは、コミュニケーションの基礎となるような幅広い教養や知識、および論理的思考力のことです。このような学識と専門的知識を兼ね備えた人のことをT字型人材と呼ぶことがあります。Tの横棒が異分野の人との連携を可能にする学識、縦棒の部分が深く掘り下げた自分の専門的知識の部分です。

名古屋大学経済学部は、前身である旧制名古屋高等商業学校(1920年創立)以来100年に迫る伝統の中で、まさにT字型人材を育成してきたといえます。専門(Tの縦棒)を徹底的に鍛える3、4年次のゼミと卒論研究は、一人の教員が指導する学生を原則8名までとする徹底した少人数教育を厳格に実践しています。また、幅広い学識(Tの横棒)を獲得するために、1、2年次に行われる全学教育(一般教養)だけでなく、専門科目群の中に理論的アプローチ、歴史的アプローチ、事例研究、実地調査など多種多様な科目を用意しています。かつての旧制名古屋高等商業学校が、「単なる商業経済の専門学校でなく総合大学としての偉容を有する」と賞賛された、そのDNAを今に引き継ぎ、有為なT字型人材を自然に育むカリキュラムを展開しています。

1



経済と経営を複眼的に学ぶカリキュラム

名古屋大学経済学部のカリキュラムの特徴は、経済理論・経済政策、制度経済学・経済史、経営学・会計学という幅広い分野を網羅していることです。経済学部は経済学科と経営学科とに別れていますが、どちらに所属しても、これらの分野を一通り勉強することになります。これによって、社会や市場全体を見渡す

「経済学的視点」と、個別企業の立場から考える「経営学的視点」を同時に持つ複眼的な人材を育成します。また、歴史を通じて多様な経済体制について学ぶことで、現代社会を様々な切り口で分析できる人材を育成します。

		経済学科	経営学科		
		個人や企業の自由で合理的な意思決定に基づく社会全体の調和と発展について考えます。	集団に調和と秩序を持たせる方法、合理的な意思決定の方法について考えます。		
分野	分野の特徴	1年	2年春学期	2年秋学期～4年	
理論・政策	「経済学」と聞いて最初に思い浮かべる主流派の経済学(近代経済学)を学びます。数理的な理論分析と統計的な実証分析を通じて、財政、労働、金融、農業、教育、医療などの社会問題を考える方法を学びます。「経済学を学んだ」と言うためには、欠かすことのできない分野です。	統計解析 経済数学A 経済数学B マクロ経済学 ミクロ経済学 計量経済	マクロ経済学 ミクロ経済学 計量経済	国際経済 公共経済 経済政策 財政 金融 経済発展 労働経済 産業組織 農業経済	
制度・歴史	経済学は大がかりな実験ができません。そこで、各国の多様な制度や歴史を手掛かりにして、政治・文化・社会など、多様な側面を考慮しながら、資本主義経済の仕組みを理解しようとする分野です。主流派の経済学を絶対視せず、批判的な目を持って理解するためにも欠かせない分野です。	政治経済学 一般経済史	政治経済学 一般経済史	経済学史 現代資本主義 日本経済史 西洋経済史 社会思想史	
経営・会計	経済理論は、人や企業が合理的に行動すること、情報が完全に行き渡っていること、市場への参入・退出が自由であることを仮定しています。これを、立場を変えて、どうすれば合理的に行動できるか、どうやって情報を収集・処理するべきか、いつ、どうやって市場に参入・退出するべきかを考えます。3分野の中ではもっとも実践性を重視する分野です。	会計 会計 経営 財務諸表	経営 財務諸表	財務会計 管理会計 経営組織 ファイナンス 生産管理 情報処理 国際会計 経営分析 経営労務 マーケティング 経営戦略 監査 経営情報	

2



ゼミナールで学ぶ

徹底した少人数制による専門研究と人格的交流の場

経済学部のカリキュラムにおいて、ゼミナールは重要な役割を果たしています。ゼミは必修で、教員と原則8名までの学生によって構成されます。ここで専門分野の研究を集中的に行います。

まず2年次秋学期に、各教員によるゼミのテーマの発表、先輩達によるゼミ紹介などを参考にしてゼミを選択し、書類審査や面接を経て、所属ゼミが決定されます。そして、3年次からゼミが始まります。各ゼミの活動内容は多種多様ですが、一般的には、数冊のテキストを読み、報告・討論する形で運営されます。工場見学や企業調査を行ったりするゼミもあります。また、夏休みには、レポートが課されたり、ゼミ合宿を行ったりすることもありま

す。インターゼミナール(他大学との研究発表会)に参加するゼミもあります。4年次には、卒業論文の作成が重要な課題となります。研究テーマを絞り込み、より専門的な文献を読んだり、詳細なデータ分析をしたりします。そして1月中旬に、4年間の勉学の集大成として、卒業論文を提出します。

この他にも、ゼミ旅行、コンパ等、ゼミ単位の行事がたくさんあります。このように、ゼミは単に専門知識を学ぶだけの場ではなく、教員や学生同士の人格的交流の場でもあります。ゼミ活動にどのように関わるかで、経済学部の生活は大きく変わるといっていいでしょう。



小沢ゼミナール

小沢ゼミでは、「ビジネスの力で社会問題を解決する」をテーマに、経営学・会計学を幅広く学習します。3年次春学期には、レゴの車を組み立てる模擬生産ラインをつかって、分業生産の問題点やその解決法について一緒に考えます。秋学期には、企業や社会の問題を解決するための戦略を、戦略論、生産管理論、会計学、統計学など、授業で学んだ知識を総動員して考えます。その成果は、他大学と合同の研究発表会(インゼミ)で発表します。

4年 木村友紀さん

ゼミの活動で大変なのは、合格するまで、何度も書き直すレポートです。工場見学に行った後や合同ゼミ発表会をした後にはA4用紙一枚のレポートが課されます。量は少ないのですが、先生に文章を厳しく添削され、10回以上書き直したこともあります。また、合同ゼミ発表会のテーマに犬山城を使ったビジネスプランを考えていたこともあり、ゼミの仲間と何度も犬山城に遊びに行ったことは楽しい思い出です。



土井ゼミナール

土井ゼミでは、自分で考え、議論し、相手を納得させるための訓練を行います。特に、グローバルに活躍する人材を目指し、英語でのグループディスカッションや大学の国際プログラムへの参加を推進しています。例えば、シンガポール国立大学との連携プログラムでは、受け入れ時のイベント企画をゼミ生が担当しています。また、海外派遣プログラムにもほぼ全ての学生が参加し、約半数が海外の協定校へ交換留学を目指しています。

4年 小川直美さん

私たち土井ゼミには、国際色豊かで様々な価値観を持つ仲間が集まっています。そのため、普段の何気ない会話やゼミ活動を通じて、視野が広がる楽しさと意見の違いを乗り越えて企画を推進する難しさを感じ、刺激を受けています。また、研究では興味のあるテーマを自由に設定することができます。異なる考えを持つ相手にわかりやすく、納得させられるだけの知識、論理性、伝え方を身につけなければと日々奮闘しています。

3



学部・修士5年一貫教育プログラムで学ぶ

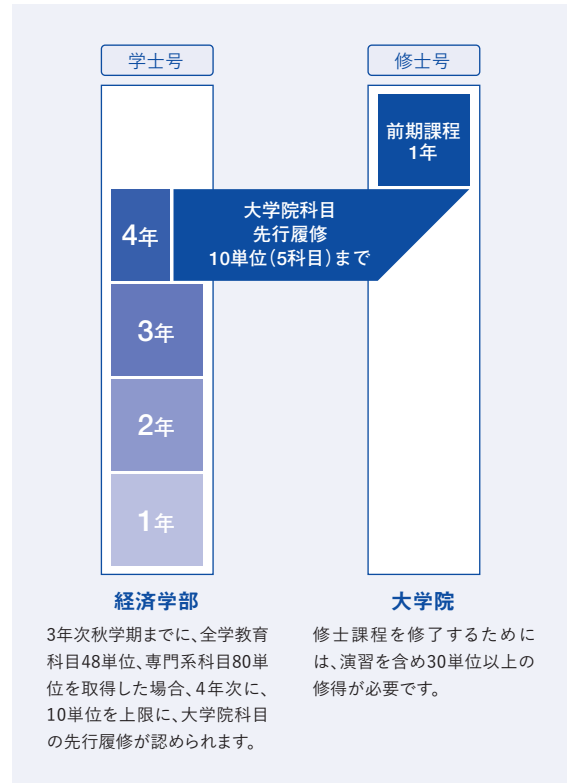
+1年で取得するプロフェッショナルへのパスポート

経済学部の4年の課程を修了すると、みなさんには、「学士」という学位が授与されます。その後、大学院で2年の課程(前期課程)を修了すると「修士」、さらにその後3年の課程(後期課程)を修了すると「博士」の学位が授与されます。修士は「マスター」、博士は「ドクター」ともよばれます。修士号を取得するということは、先端的な研究についてもよく理解して、学術的な調査や分析の方法を修得しているということです。

日本の、特に文系の学部では、修士・博士という学位を取得することは、あまり重要視されていないようです。しかし、日本でも、理系の学部では修士の学位を持つことは普通になっています。また、海外では、どこの大学を卒業したかに加えて、学士・修士・博士という学位の違いが意識されることも多いようです。将来、グローバルな企業で働こうと思っている人は、修士号を取得しておいても損をすることはないでしょう。

名古屋大学の経済学部には、学部4年+修士2年の計6年の課程を5年(学部4年+修士1年)で短縮修了できるプログラムがあります。3年次に一定の成績基準を満たしている学生はこのプログラムに挑戦することができます。

■ 学部・修士5年一貫教育プログラムの仕組み



わたしが大学院で学ぶ理由



経済学研究科
産業経営システム専攻
M1 加藤 希歩さん

私は、大学の講義で初めて会計学の勉強をして興味を持ち、3年次のゼミでは再度、基礎から勉強し直しました。私は、将来は、公認会計士になりたいと思っています。そこで、単なる知識の修得だけではなく、会計学の本質的な考え方についても理解を深め、知識を応用できるようになりたいと思ったことから、5年一貫教育プログラムへの応募を考えました。応募にあたっては、高度な内容の大学院の授業についていけるかという、一

抹の不安もありましたが、チャンスを活かして頑張りたい!という気持ちが勝り、応募を決めました。

大学院では、全て英語で行われる授業もあり、戸惑いしましたが何とか耐えました。また、学部の講義よりも自分の意見が求められます。「ただ聞く」というよりは「参加する」という面が強くて、面白く感じました。また、社会人や留学生と交流する機会も多くあり、視野が広がったと思います。興味のある人は、チャレンジしてみてください。

4



グローバル人材育成プログラムで学ぶ

世界規模でものごとを考え、日本の文化や歴史を世界に発信できる人材を育成

「グローバル人材」は、世界で通用する、世界規模でものごとを考えられる人間であると同時に、日本の文化や歴史を認識して世界の人々に発信できる人材を意味します。

名古屋大学経済学部では、グローバル人材の育成を目的として、趣旨に賛同する企業、金融機関、官公庁の協力を得て「グローバル人材育成プログラム」を展開しています。このプログラムでは、マニュファクチャリング(製造)、ファイナンス(金融)、ロジスティクス(流通)各分野における、第一線でご活躍の講師による講義を受け、実社会に触れる機会を提供しています。また、成績優秀者をタイ・シンガポールへの研修旅行に派遣しています。現地大学での研究発表や学生交流を行ったり、日系企業の現地拠点を訪問してグローバル経営の実態を学んだりしています。

2016年度協議会委員

三井住友銀行、野村證券、日本政策投資銀行、日本銀行、三井物産、デンソー、トヨタ自動車、新東工業、富士通、大同特殊鋼、三井化学、豊田通商、名港海運、DMG森精機、損保ジャパン日本興亜、ブラザー工業、国土交通省、中部電力、日本通運(順不同)

産官学連携

企業派遣の講師による講義
実社会に触れる機会の提供



科目名	概要
マニュファクチャリング (製造)	グローバル化に伴う日本の製造企業の経営課題と対応について、生産現場の基礎知識を実践的に学びます。
ファイナンス (金融)	グローバル資本主義経済の根拠を支える金融の概要を学びます。特に、金融市場のメイン・プレイヤーの役割に焦点を当てます。
ロジスティクス (物流)	グローバルな規模で、必要なものを必要な時に輸送するための企業の取り組みを実践的に学びます。

国際交流

成績優秀者をタイ・シンガポール研修旅行へ派遣

- 現地大学で研究発表
- 学生交流
- 日系企業の現地拠点の視察



プログラムの魅力



経済学部 経営学科
4年 東城 満里菜さん

2016年9月、10日間のタイ・シンガポール視察研修に参加し、日系企業の現地拠点や大学を訪れました。東南アジアの訪問は今回が初めてだったので、肌に触れる空気や、目にする景色、聞こえてくる言葉などすべてが新鮮で、多くの気づきがありました。

訪問先企業では、現地事情の講義、工場見学、現地社員との交流の場を設けて頂き、海外で働くイメージが鮮明になり、自分のキャリア形成に役立つ知見を得ることができました。

タイ・チュラロンコン大学・シンガポール経営大学・シンガポール国立大学では、英語でのプレゼンテーションを行い、大きな達成感を得ましたが、現地の学生が堂々と英語を話し意見を述べる姿を見て、私たちがグローバル社会で活躍するための英語力の強化が必須であると認識しました。

これらの経験や共に研修に行った仲間たちを財産として、グローバルに活躍できる人材になれるように、今後も努力し続けたいと思います。

5



海外派遣プログラムで学ぶ

大学全体のプログラムに加え、経済学部独自の海外派遣プログラムも充実

名古屋大学経済学部では、グローバル人材の育成を目指して、複数の国際交流プログラムを提供しています。例えば、ドイツ・フライブルク大学への夏期派遣プログラム、ベトナム貿易大学への派遣プログラム、シンガポール国立大学への派遣プログラムなどがあります。1学年205名の入学定員に対して約40名分の枠が用意されているため、5人に1人はこれらのプログラムを利用して海外経験をすることになります。また、これらの派遣プログラムでは、政府や企業、大学や同窓会(キタン会)から資金的な支援を頂いて、学生の渡航費用を補助しています。

学生の派遣だけではなく、ベトナムやシンガポールなどの海外協定大学の学生の受け入れも行っています。日本に来た学生は、学内で講義を受講するだけでなく、名古屋大学の学生と一緒に工場見学やグループワークに参加しています。名古屋大学の学生は、日本に居ながらにして、あるいは、自分が海外派遣プログラムに参加する前に、国内で海外の優秀な学生と触れ合い、一緒に学ぶことができます。

さらに、名古屋大学全体としても、世界に100以上の協定大学をもち、数多くの海外派遣プログラムを提供していますので、学生は自分の語学レベルや目的に合ったプログラムを選択することができます。経済学部の派遣プログラムを経験した学生の多くが、その後、交換留学しています。



ベトナム貿易大学への派遣

時期：11月頃／日数：2週間／人数：20名程度／内容：日本企業の訪問・研究報告



シンガポール国立大学への派遣

時期：2月頃／日数：10日間／人数：10名程度／内容：日本企業の訪問・現地学生とのディスカッション



フライブルク大学への派遣

時期：9月頃／日数：4週間／人数：10名程度／内容：語学研修・フィールドワーク



経済学部 経営学科
4年 宗宮 駿介さん

私は2年生の夏休みに経済学部のフライブルク大学の研修(約1ヶ月)に初めて参加し、同2月にCampus ASEANプログラムでタイとシンガポールを訪問しました。その経験を踏まえ、3年生の秋から1年間は、交換留学でアメリカでに行きました。アメリカのシンシナティ大学では、3、4年生向けのマーケティングの授業に参加しました。ここではグループワークが多く、マーケティング調査や新製品開発等の実践活動をしながら学ぶということが主流でした。特に新製品開発の授業では一学期かけてマーケティングを活用

しながら新製品をつくるという面白い体験ができました。学習意欲が高く様々なバックグラウンドを持つアメリカの学生達と共に一つのことを成し遂げて、最も勉強のやりがいがあった一年間だったと思います。また優秀なアメリカ人と接して自分に足りない部分や今後の課題を見つけれられました。フライブルク研修やCampus ASEANプログラムで色々な人と関わりや語学力を高めたことで、レベルの高い授業における実践的な活動へスムーズに参加することができ、アメリカ留学をより充実したものにできました。

シンガポール国立大学の学生コメント

名古屋大学の近郊にある自動車工場の見学をすることができ、「Kaizen」や「Kanban」方式を見ることができました。その後、名古屋大学の学生と一緒に工場の管理や生産方式について議論することができたのは非常に有意義でした。また、シンガポールでの市場のシェアが50%を超えている飲料メーカーが名古屋発祥であることを知り、驚きました。工場見学を行い、そこでマーケティング戦

略についての説明を聞きました。同じ商品を世界中で提供するのではなく、「正しい商品を求められる市場へ」という考え方はとても興味深く、市場戦略の新しい学びとなりました。これらの工場見学に行ったとき、日本語の説明文や企業側の解説を名古屋大学の学生がわかりやすく英語に翻訳してくれて、関連する戦略や課題について議論することができたのは、とても価値のある経験でした。

6



卒業後の進路

就職率だけでなく、それぞれの適性にあった就職を支援

本学部では、毎年、ほぼ100%の学生が希望通りに就職しており、各種調査による、経済・経営・商学系の就職率ランキングでは、全国1位になっています。就職先は、製造業、サービス業、公務員まで多岐にわたります。また、毎年15～20名ほどの学生が公認会計士の資格取得を目指しています。

本学部では、同窓会であるキタン会と連携して、単に有名企業

や人気企業への就職を目指すのではなく、学生ができるだけ幅広い業種に目を向けて、適性にあった就職先を見つけるための支援をしています。例えばキャリアデザインについて考える「大学生のための職業論」を開講したり、東証一部上場企業を中心とした60社以上の企業による「キャリア形成講習」の開催、年齢の比較的近いOBと懇談できる企業見学会を開催するなどしています。



2016年度卒業・東海テレビ放送
喜多島 一輝さん

名古屋大学駅が一番出口を出てすぐ。大学と地域とを隔てる門が無い開かれた場所に、経済学部の学び舎がある。そのような環境だからか、経済学部には地域社会と共に学び、成長しようとする学風が育まれているように感じる。同窓会組織のキタン会は、卒業生から“仕事”をテーマとした話を聞く講義を設けている。大学と地域社会とを結ぶ象徴的な講義であり、先輩方の仕事に対する考え方や就職のエピソードは、私の就職活動にも役立った。またゼミの先生方も、豊富

な人脈を活かして様々な職種の方を紹介してくれる。私もゼミの先生より、中小企業経営者の勉強会のお手伝いを紹介していただいた。学生生活ではあまり出会うことの無い経営者と接する機会を得たことは貴重な経験となった。これからの長い社会人生活においても役立つはずである。経済学部の地域に開かれた立地と学風を活かして、積極的に学外の人に出会う。そのことが就職活動を行う上で力になるはずである。



2015年度卒業・三井住友銀行
島津 秀全さん

就職活動において大事なことは、様々な業種・会社の話を聞き、何をしているのか、どのような仕事があるのかをよく知ることだと思います。ハンドボール部の活動やファミレスのバイトに力を入れる普通の大学生だった私ですが、3年生のときに参加した大学主催の業界説明会では新しい発見ばかりでとても楽しかったことを覚えています。私は当初、やりたいことがはっきりとしておらず、漠然と就職活動を始めました。ただ人の役に立ちたい、自分にしかできないことをしたいとい

うぼんやりとした思いがあり、説明会で多くの会社の話を聞くうちに、そうした様々な会社の経営課題を解決に導き企業価値向上に貢献できる銀行という職種に興味を持ちました。

就職活動は、働く会社を決めるというイメージが強いのですが、これからどのような人生を送りたいか、将来どのような大人になりたいかをじっくり考える機会でもあります。就職活動を通していろいろな場所に向かうことで、自分の将来像に合致する会社に出会えると思います。

写真協力：株式会社 studio es

主な就職先(2016年3月卒業)

アイシン・エー・アイ、あずさ監査法人、愛知県信用農業協同組合連合会、愛知県庁、アドヴィックス、アビームシステムズ、アマゾンジャパン合同会社、いえらぶ、イオンリテール、伊藤忠商事、エイチーム、大垣共立銀行、オービック、岡谷鋼機、川崎重工業、監査法人トーマツ、岐阜県警、岐阜市役所、キャノン、グリー、小牧市役所、コミュニティネットワーク、ジェイテクト、滋賀銀行、静岡ガス、静岡銀行、島津製作所、秀英予備校、十六銀行、信越化学工業、新東工業、新日鐵住金、シンプルクス、鈴与、住友商事、住友生命保険、税理士法人創経、セディナ、双日、損害保険ジャパン日本興亜、ダイコク電気、大正製薬、大和ハウス工業、竹中工務店、田子の浦埠頭、チモロ、中日新聞社、中部管区行政評価局、中部経済産業局、中部電力、中部薬品、デンソー、電通九州、東海テレビ放送、東海旅客鉄道、東京国税局、東京都庁、東芝機械、東邦ガス、豊田自動織機、トヨタ自動車、トヨタ車体、豊田市役所、トヨタホーム、東レ、ナガセ、名古屋銀行、名古屋国税局、名古屋市役所、名古屋鉄道、名古屋入国管理局、西日本電信電話、日本アイ・ピー・エム、日本生命保険、日本特殊陶業、ニートレックス、ネオレックス、農林中央金庫、ノースショップ、能美市役所、パナソニック、浜松市役所、浜松ホトニクス、百五銀行、ヒルトン東京ベイ、不二越、富士通、ホンザキ、北國銀行、マキタ、みずほフィナンシャルグループ、三井住友海上火災保険、三井住友銀行、三井住友信託銀行、三菱ケミカル、三菱東京UFJ銀行、三菱電機、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、矢作建設工業、ヤマハ発動機、りそなホールディングス、リンクアカデミー、レジェンダ・コーポレーション、労働基準監督署、ワークスアプリケーションズ、DMG森精機、JA愛知信連、JFEスチール、JR東海静岡開発、JR東海高島屋、JTB中部、JXエネルギー、NECソリューションイノベータ、Nitolex、NTTデータ、NTTドコモ、SMC ほか

大学院進学

大学卒業後、さらに深く学ぼうとする人のための教育・研究のための場が大学院です。大学院は、単に研究者になるためだけのものではありません。大学院には2年の前期課程(修士課程)とその後3年の後期課程(博士課程)があり、前期課程を修了した時点で企業に就職する道も開かれています。

大学院では、講義を通じて教科書の内容を学ぶだけでなく、指導教員の下で、専門書や論文を読み、実地調査やデータの分析を通じて、学問の本質に迫ります。一方的に知識を教えられるのではなく、指導教員との双方向の対話を通じて「問う力」「考

える力」「説明する力」を身につけます。また、大学院には留学生や社会人として大学院に通っている人達がたくさんいます。こうした多様な人達と触れあい、視野を広げられることも大学院の魅力です。

企業に就職する前に、社会を俯瞰的に捉えられるようになりたい、人とは違う新しい発想をしてみたい、自分の意思決定に自信を持てるようになりたい、そう思ったら、大学院進学も良いかもしれません。



経済学研究科
社会経済システム専攻
M2 齋藤 誠さん

私が高校生だったころ、自分が大学院に進むようになるとは思ってもいませんでした。それはなぜ院にまで進んだのかというと、大学生のうちに、学問の面白さを感じる機会に恵まれたからなのです。それまでの私にとって、学問とは勉強の言い換えに過ぎませんでした。つまり、はじめから答えが決まっている問題に対して、いかに首尾よく答えられるかがすべてだと思っていたのです。しかしここで

でいいのかなと問い直すことができます。いまだ誰も答えを見つけていない問題を見つけて、それに取り組むこともできます。そして、自分なりの答えを見つけて、それを伝えることができるのです。この自由さこそが、勉強に留まらない学問の面白さだと思います。この学問をする場として、大学院ほど快適なところはありません。あなたにも、学問が面白いと感じられる時が来るかもしれません。そのときには、大学院はあなたにとって魅力的な進路になるはずです。

卒業生就職等状況一覧表

業 種		26年度	27年度	28年度	業 種		26年度	27年度	28年度	
1	農 林 ・ 水 産 業				19	小 売 業	7	4	3	
2	鉱 業	2			20	金 融 業	33	25	37	
3	建 築 業	4	4	3	21	保 険 業	13	9	7	
4	製 造 業	食品・たばこ・飲料	2	4	22	不 動 産 業	7	3	3	
5		繊維・衣類・その他の繊維			23	飲 食 店 ・ 宿 泊 業	1		1	
6		印 刷 等	2	1	1	24	医 療 ・ 福 祉	2	3	1
7		化学工業・石油・石炭製品	3	1	4	25	教 育 ・ 学 習 支 援 業	5	3	4
8		鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	4	7	4	26	複 合 サ ー ビ ス 事 業	1		
9		一 般 機 械 器 具	3	7	5	27	サ ー ビ ス 業	7	1	2
10		電 気 ・ 情 報 通 信 ・ 機 械 器 具	6	8	8	28	国 家 公 務	7	7	6
11		電 子 部 品 ・ テ バ イ ス	1	3	3	29	地 方 公 務	22	20	25
12	輸 送 用 機 械 器 具	22	24	17	30	そ の 他	14	12	11	
13	精 密 機 械 器 具				小 計			211	195	182
14	そ の 他	3	9	6	31	大 学 院 進 学	9	9	6	
15	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	2	6	4	32	そ の 他	18	17	17	
16	情 報 通 信 業	24	20	20	計			238	221	205
17	運 輸 業	9	12	4						
18	卸 売 業	5	2	3						

附属機関・施設

学部生・院生の学びをフォロー



名古屋大学には、中央図書館の他に、各学部の図書室があります。経済学図書室は、その蔵書の質と量、閲覧環境等において、名古屋大学の学部図書室の中でも指折りの図書室です。また、経済学部・経済学研究科には国際経済政策研究センターがあり、各種の統計データ、産業、企業、労働等に関する資料を入手することができます。

経済学図書室

経済学図書室は、国内外の経済学及び周辺分野の図書、雑誌、電子ジャーナル、最新のデータベース、電子書籍を揃えています。なかでも、EU、OECD、IMF等の国際機関刊行物、アメリカ等外国政府刊行物は蔵書の特色の一つです。特にEUについては、イギリス等がECに加盟した1973年以来、経済学図書室はEU情報センターに指定され、EU公式資料の主たるものはほとんど受け入れています。

また、伝統ある経済学、社会思想の古典類についてもよく収集されており、貴重書室には、1850年以前に刊行された図書が、



革の背をみせて並んでいます。中には、アダム・スミスの『国富論』、マルクスの『資本論』、ケインズの『雇用、利子および



貨幣の一般理論』の初版本等もあります。経済学の礎を築いたり、世界史を動かすもとなった名著が、出版時の雰囲気を含んで今に伝えています。この他に、「イギリス革命文献コレクション」(イギリス革命に関する17世紀から18世紀の原資料およびその研究文献)、小川文庫(イギリス経済学とくに重商主義者、古典学派、リカード派、社会主義派の著作)、徳重文庫(18世紀および19世紀の西欧社会思想)もあります。

さらに、希望する図書や雑誌が学内にない場合も、他大学や国立国会図書館から図書を借用したり、論文のコピーを取り寄せることができるなど、学習・研究に不可欠の図書室となっています。

国際経済政策研究センター

国際経済政策研究センターの起源は、名古屋大学経済学部の前身である名古屋高等商業学校(1920年創立)に設けられた産業調査室です。後に「雁行形態論」で国際的に有名になる赤松要が、きちんとした実証に基礎づけられた経済の研究をするためには、統計データなどを体系的に収集する組織が必要であると訴えて、1926年に産業調査室が設置されました。

これを継承した名古屋大学経済学部・経済学研究科は、今日まで、着々とデータを集め続けてきました。90年以上にわたって



地道に蓄積された経済統計資料、政府刊行物、企業体資料の内容は中部地区では抜きん出たもので、たとえ大金をつぎ込んでも今からではもう決して作れない貴重な財産となっており、学内のみならず他大学、地域、海外から利用されています。

もっとも、今日では単なる資料収集・整理組織ではありません。1970年代からの度重なる改組によって、研究機関としても着実に発展してきました。研究・教育の両面で経済学研究科と緊密に協力しつつ、広い視点から実証的な調査・研究を行っています。そして、その成果を内外の大学、研究機関をはじめ広く社会に還元しています。

経済学部・経済学研究科同窓会 「キタン会」

各界の第一線で活躍する先輩



名古屋大学経済学部・経済学研究科には「キタン(其湛)会」という、名古屋高等商業学校(1920年創立)から受け継がれた同窓会組織があります。その名称は、中国の古典『詩経』『小雅』篇にある「子孫其湛 其湛日栄 各奏爾能」(天から幸福を授かり、子孫がその恵みを楽しみ、得意の技能を披露している)という子孫繁栄の祝歌から採ったもので、「母校の発展を願ってきた多くの先輩の志を受け継ぎ、後輩の幸福に寄与する」という意味があります。全国にいる1万9000人以上の卒業生のために、

北海道、東京、関西にも支部を設けています。また、トヨタグループの「全トヨタキタン会」、名古屋市職員の「丸八キタン会」など、企業・団体別に同窓会を組織して活動していることもあります。

キタン会は、卒業生の親睦を深めるだけでなく、経済学部や経済学研究科に対して各種の支援事業を行って来ています。入学時から、在学中、卒業時まで、みなさんの学生生活を財政面と人的ネットワークの面から支えて来ています。

- 活動内容 -

01 パーティー、交流会で 人的ネットワークをつくろう!

キタン会は年間を通じて、たくさんのパーティーや交流会を主催しています。入学時には、2・3年生が新入生のために企画するウェルカム・パーティーがあります。新入生の9割以上が参加し、先輩とふれあい、新しい友達もできる楽しい催しです。6月の名大際、10月のホームカミング日には、キタン学生交流会を開催しています。1月には、市内のホテルでニューイヤーパーティーを開催します。大手企業の会長・社長さんから、各界で活躍する若手OBらが100名ほど参加します。



スゴイ先輩達と親しく話せる、貴重な機会です。そして、卒業式後には、謝恩会を開催しています。



キタン会では、短期の海外留学を財政的に支援しています。2015年度は、ドイツのフライブルク大学に5名が、ベトナム・ハノイ貿易大学には18名が、キタン会の支援で短期留学しました。

就職活動を支援するためには、企業見学会を開催してい

02 学業も就職活動も支援します!

ます。これまでには、東邦ガス、豊田自動織機、CKD、大同特殊鋼、三菱電機、キンピールなどを訪問し、工場を見学したり、OBと懇談したりしました。また、人気の大手企業60社以上が参加する「キャリア形成講習」を後援しています。各社を比較して、自分に適した業界・企業を見つけて下さい。さらに、各企業に勤める若手の先輩や内定者による就活相談会を開催しています。先輩だからこそ相談できること、通常の就職説明会では絶対に出ないOBならではの話なども聞くことができます。また、個人的に希望する企業のOBをキタン会が紹介し、そのOBを訪問し、就活の体験談や職場の実情などを直接聞くこともできます。



キタン会 会長
鈴木 武

刈谷高から、1970年経済学部卒。
(元)トヨタ自動車・専務、(現)あい
おいニッセイ同和損保・特別顧問

同窓会の仲間が楽しく集う会です!

今年も名古屋大学経済学部に多くの新入生を迎え、われわれOBも大変嬉しく思います。皆さん、希望に胸膨らませ、これからの学生生活をエンジョイしてください。キタン会は、皆さんが充実した学生生活を送れるよう支援いたします。卒業後はキタンアンとしての誇りを持って多くの同窓生とともに活躍いただけることを期待します。

4

大学院修了後の進路

大学院修了後は、専門知識を活かした職業に就くことが多いようです。前期課程を修了して就職する場合には、金融機関、監査法人、あるいは官公庁への就職が目立ちます。後期課程を修了して就職する場合には、大学などの研究職に就くことがほとんどです。

■前期課程
 プラザ工業、十六銀行、名古屋銀行、桑名市役所、三井ホーム、三井住友海上火災保険、三菱重工業、名古屋総合リハビリテーション事業団、住友不動産販売、中京テレビ放送、中日本高速道路、あずさ監査法人、監査法人トーマツ、岡村製作所、中部国際空港 ほか

■後期課程
 宇部工業高等専門学校、南山大学、東北学院大学、三重県庁、高崎経済大学、名古屋大学、日本学術振興会 ほか



経済学研究科
 産業経営システム専攻
 M2 服部裕輔さん

私は2013年にコンサルティングとシステム開発を主力事業とする会社を設立し、共同経営者らとともに自社グループの経営を行いつつ、自らはコンサルタントとしてクライアントの経営課題解決の支援に携わっています。これまで、仕事で必要な知識はその都度インプットし、経験則を頼りに何とか乗り切ってきましたが、会社をさらに発展させ、より高い次元のコンサルテーションを行うためには、自身のレベルをもう一段上げる必要があると感じ

じて大学院入学を決めました。大学院では、これまでの偏った知識を整理し、経営全般に関する知識を体系的かつ理論的に習得しています。現在は「人と組織のマッチング手法、最適チーム編成の研究」をテーマに修士論文を執筆しています。高度で専門的な知識を有する教授陣や、様々なバックグラウンドを持つ他の社会人院生との出会いは、仕事に役立つだけでなく、人生を豊かにする上でも大きな財産だと感じています。

大学院入試情報

博士前期課程一般入試

1. 出願資格

大学を卒業した者及び出願年度の3月31日までに卒業見込みの者

2. 募集人員

○社会経済システム専攻 30名 ○産業経営システム専攻 14名

3. 選抜の方法

- (1) 第一次試験(学科試験)
- (2) 第二次試験(口述試験)〈第一次試験合格者のみ〉

※英語能力については、TOEFL-iBT / TOEIC / IELTSの成績通知書によって評価します。

出願書類受付期間(一般入試・社会人一般コース共通)

第1次募集 → 8月中旬頃 第2次募集 → 1月上旬頃

博士前期課程社会人一般コース

1. 出願資格

大学を卒業した後、通算して満3年以上の社会経験を有する社会人

2. 募集人員

10名程度

3. 選抜の方法

- (1) 第一次試験(学科試験)
- (2) 第二次試験(口述試験)〈第一次試験合格者のみ〉

専攻	一般入試	社会人一般コース
社会経済システム専攻	A類(ミクロ・マクロ経済学関係) B類(政治経済学・経済史関係) C類(経済政策関係)	各類ごとに2題が出題される。全体の中から類を問わず2題選択する。
産業経営システム専攻	D類(経営学関係) E類(会計学関係)	
	F類(経済・経営事情関係)	

【問い合わせ先】 名古屋大学文系教務課(経済G) TEL. 052-789-2357 FAX. 052-789-4921

2

理論 × 実践

社会人大学院生 として学ぶ

経済学や経営学の面白さは、二十歳前後の社会を知らない若者には分かりにくい部分があります。職に就いて、世の中や組織の仕組みを知ると、経済学や経営学の面白さも分かり、興味が湧いてくるのではないのでしょうか。「もう一度勉強してみたい」「もう少し勉強してみたい」とあつとき聞いた話をもう一度聞きたい」そんな社会人の要請に応えるために、私たちが大学院の社会人リフレッシュコースを立ち上げたのは、1996年のことでした。しかし、当時は、土日・夜間の授業は少なく、授業内容は旧態依然としており、社会人学生の期待に十分に応えることができていませんでした。私たちは、様々な制約がある中で、長く試行錯誤を繰り返してきました。そして、リフレッシュコースの立ち上げから20年目を迎える2016年、もう一度、社会の要請に応えられる大学院づくりにチャレンジすることにしました。土曜日集中講義と夜間講義、実務経験者を講師に迎えた講義を増やし、必ずしも昼間の講義を受講しなくても修了できるようにしました。また、名古屋市立大学の経済学研究科、名城大学の経営学研究科と単

位互換協定を結び、これらの大学院の授業科目を相互履修できるようにしました。社会人が、実務における問題や経験を持ち寄って集い、

実務とアカデミズムとが切磋琢磨し合える、そんな学びの場を提供したいと思っています。

働きながら大学院に通う場合の科目履修例

		1年次春学期							1年次秋学期		2年次春学期		2年次秋学期	
		1限 8:45-10:15	2限 10:30-12:00	3限 13:00-14:30	4限 14:45-16:15	5限 16:30-18:00	6限 18:15-19:45	7限 20:00-21:30	1限 19:45	7限 20:00-21:30	15限 19:45	7限 20:00-21:30	5限 19:45	7限 20:00-21:30
月														
火							マネジメントI アカウントI							
水														
木														
金														
土		日本経済論(集中)・企業経営論(集中)												
水														
木														
金														
土														
水														
木														
金														
土														
水														
木														
金														
土														

経済学・経営学は、法学、数学、工学、政治学、倫理学、心理学、統計学、物理学など、他の学問分野の影響を受けながら発展してきました。最近では、様々な領域融合型の大学院が開設されていますが、経済学・経営学は、まさに文理融合・領域融合の学問であり、その成功事例と言えるでしょう。今では、確立された一つの学問分野であることに誰も疑いを持ちません。

しかし、経済学・経営学を発展させるためには、今後まだまだ他分野の知識が必要です。他の学部で培った専門知識は経済学研究科でも活かされることでしよう。

本研究科は、経済学部以外の学部を卒業した人も広く受け入れています。これまでも、理学部、法学部、文学部、工学部などの卒業生を受け入れてきました。また、研究科の教員にも、経済学部以外の学部を卒業した教員がたくさんいます。こうした仲間や教員と日常的に関わることで、専門的知識だけでなく、異分野の人とのコミュニケーションを可能にする、幅広い教養や知識、論理的思考力を自然と身につけることができます。

3

他分野 × 経済学

他学部を卒業して 経済・経営を学ぶ



写真協力：株式会社 studio es

1 双方向の対話を通じて鍛える 問う力・考える力・説明する力

大学院における学修は、講義科目を履修して単位を取得する、あるいは、本や論文を読んでたくさん知識を身につけることが中心ではありません。むしろ、指導教員との双方向の対話を通じて、研究テーマについて考え、修士論文・博士論文を執筆することが中心です。論文作成の一般的な流れは次の通りです。

多くの場合、研究のテーマは指導教員によって与えられるのではなく、学生自らが見つけ出さなければなりません。そのためには、まず、「どんな問題を解決すれば、我々の『知』が一歩前進するのか」を考えます。つまり、まずは「解」ではなく「問い」を発する力を付けなければなりません。「問い」が決まったら、はじめて「解」を探します。しかし、実は「問い」を探す過程において「解」の見当はついていることが多いのです。ただし、

それが間違っていないことを、丹念な論証と実証の積み重ねによって確認します。「解」に辿り着いたら、それを論文にまとめます。論文では、自分の発した「問い」がいかに重要であるか、どのような手順で「解」に辿り着こうとするのか、そして、どのような「解」が導かれるのかを、順序よく説明します。

このようなプロセスを経験することによって、価値ある「問い」を発する力、科学的な方法で「考える力」、論理的に「説明する力」を身につけます。



大学院の開講科目例 (2017年度)

分野	基礎科目	専門科目	課題設定型講義・ワークショップ
理論・政策	上級価格理論・ 上級所得理論・ 上級計量経済・ 上級数理経済・ 価格理論・ 所得理論・ エコノメトリクス	国際経済A・B 公共経済A・B 経済政策A・B 農業経済A・B 労働経済A・B 産業組織A・B 財政A・B 金融A・B	ミクロ・マクロ経済分析：理論と実証
制度・歴史	上級政治経済学 上級経済史 上級経済学史	現代資本主義A・B 経済学史A・B 社会思想史A・B 日本経済史A・B 西洋経済史A・B	社会経済研究
経営・会計	上級経営・ 上級会計・ マネジメント・ アカウンティング	経営労務A・B ファイナンスA・B 生産管理A・B マーケティングA・B 経営組織A・B 経営戦略A・B 財務会計A・B 管理会計A・B 監査A・B 経営分析A・B 国際会計A・B 経営情報A・B	経済体制と企業経営 Introductory Accounting(英語) 財務会計実務 ものづくり会計学 現代経営論 モノづくり経営論 人事管理 Profitability Analysis(英語) Japanese Human Resource Management(英語) 知財戦略 企業の海外戦略 製品開発マネジメント Corporate Finance(英語) Introduction to Global Management(英語)

※修了のためには、前期課程では演習を含め30単位(15科目)、後期課程では演習を含め20単位(10科目)を履修が標準必要です。
※本研究科では、レギュラーで開講される基礎科目・専門科目以外に、課題設定型講義、課題設定型ワークショップとして、その時々
のニーズに合わせた科目や最先端の研究に触れる機会を提供しています。



理論 × 実践 × 倫理

経済学・経営学の特徴はその総合性にあります。経済学・経営学は、第一義的にはサイエンスであり、経済社会を対象とするディシプリンとして、普遍的に成立する抽象的な理論やモデルを志向します。そのために、先行研究を踏まえて自身の仮説を提示し、資料やデータを集めて仮説の成否を検証するという手続きが繰り返されます。他方で、経済学・経営学は実学でもあります。われわれは家計、企業、政府、その他あらゆる経済主体の提起する課題に対し、適切な解答を用

意しなければなりません。そこで求められるものは、科学的に確認され普遍的に成立する理論に留まらず、日本であれ、アジアであれ、当該個別社会において観察される一般的知見や経験であるかもしれません。さらに、人々の厚生の上昇、経済社会的正義の実現を目指す過程においては、人文学的叡智に裏付けられた倫理的価値判断も避けられません。

経済学・経営学において、これらの要素の結びつきは不可分です。他の社会科学分野でも、同じような理論・実践・倫理の三要素の交絡はあるでしょう。しかし、経済学・経営学ほどの緊張関係にはないと思われます。また、管理された実験が可能な自然科学では理学と工学は分離可能であり、倫理的な価値判断もある程度は研究プロセスの中に制度化して埋め込むことができます。近年は専門分化が進み、ともすれば視野狭窄に陥りがちですが、私たちは、この経済学・経営学に固有の不可分性・総合性を常に意識して、研究と教育を進めています。

「創統の鐘」の由来

「創統の鐘」は、名古屋大学経済学部の前身である名古屋高等商業学校の第一回卒業生によって寄贈された其湛塔の塔頂にあつて、二十有余年に亘り授業の開始と終了を告げた時鐘でありました。

その妙音は近隣の市民にも愛されましたが、太平洋戦争の深刻化とともに、塔は取り壊され鉄材として供出されました。幸い「創統の鐘」は難を逃れ、名古屋大学経済学部に継承され、今日

に至っております。

鐘銘は初代校長渡辺龍聖氏の撰になるもので、出典は孟子・二巻の「君子創業垂統、為可繼也。君子は業を創め統を垂れ、繼ぐべきことを為さんのみ」(君子はのちに発展する事業の基礎を築き、その事業を子孫に伝えるようにすればよい)にあります。先人の志を後輩が受け継いで発展させる、この「創統の精神」が鐘の音とともに永遠に本学に伝えられることを祈念いたします。

2018

APPROACH^{PLUS}
GRADUATE SCHOOL OF ECONOMICS

名古屋大学経済学研究科案内
経済学へのアプローチ



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY